

**平成27年度
全国学力・学習状況調査結果**

平成27年10月

熊本県教育委員会

目次

調査結果の概要	...	2 ~ 7
教科に関する調査結果	...	8 ~ 57
質問紙調査結果	...	58 ~ 64
県教育委員会の取組	...	65
学力向上に向けた取組事例	...	66 ~ 80

数字はスライド番号

調査結果の概要

- 1 教科に関する調査（県全体）
- 2 教科に関する調査（各管内等）
- 3 児童生徒質問紙調査
- 4 学校質問紙調査

- 1 教科に関する調査（県全体）

小学校 6 年生					
	国語		算数		理科
	A	B	A	B	
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
熊本県	70.2	64.0	75.5	45.6	62.6

中学校 3 年生					
	国語		数学		理科
	A	B	A	B	
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
熊本県	75.2	66.2	64.0	41.6	54.4

教科に関する本県の概要は、全体的に全国平均をやや上回る状況にあります。

小学校では、国語A、算数A・B及び理科が全国平均を上回っていますが、国語Bは全国平均を下回っています。

中学校では、国語B、理科が全国平均を上回っていますが、国語A、数学Aは全国平均を下回っており、数学Bは全国平均と同じです。

- 2 教科に関する調査（各管内等）

	小学校6年生					中学校3年生				
	国語		算数		理科	国語		数学		理科
	A	B	A	B		A	B	A	B	
全国平均	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
県平均	70.2	64.0	75.5	45.6	62.6	75.2	66.2	64.0	41.6	54.4
宇城	70.3	63.3	75.6	44.7	60.8	73.3	64.3	62.9	40.7	54.0
玉名	69.6	64.8	77.3	47.1	64.0	72.5	63.8	59.2	37.7	50.0
菊池	71.0	66.9	77.4	48.0	65.8	73.9	65.8	62.1	41.1	53.2
阿蘇	69.9	63.1	76.1	43.3	62.9	76.5	67.2	64.6	42.4	56.0
上益城	69.8	62.2	74.3	43.9	61.7	71.9	62.8	62.0	40.4	55.2
八代	70.0	63.3	76.2	45.2	62.3	73.5	64.2	61.8	38.3	51.3
芦北	69.9	61.8	75.8	44.9	64.5	74.4	66.6	62.5	42.1	53.5
球磨	69.9	63.2	76.1	45.1	61.7	72.1	62.7	60.9	38.3	51.2
天草	70.4	64.8	75.9	44.3	62.2	75.0	65.8	63.7	42.1	53.4
山鹿市	72.3	67.2	77.9	47.7	66.0	73.4	66.7	64.3	41.0	53.7
熊本市	70.1	63.5	74.3	45.4	61.6	76.7	67.4	65.7	42.4	55.7

教科に関する調査（全国平均正答率以上の項目）

小学校

国語 A : 6 管内（宇城，菊池，八代，天草，山鹿市，熊本市）

国語 B : 2 管内（菊池，山鹿市）

算数 A : 9 管内（宇城，玉名，菊池，阿蘇，八代，芦北，球磨，天草，山鹿市）

算数 B : 6 管内（玉名，菊池，八代，球磨，山鹿市，熊本市）

理科 : 全管内

中学校

国語 A : 2 管内（阿蘇，熊本市）

国語 B : 6 管内（菊池，阿蘇，芦北，天草，山鹿市，熊本市）

数学 A : 2 管内（阿蘇，熊本市）

数学 B : 4 管内（阿蘇，芦北，天草，熊本市）

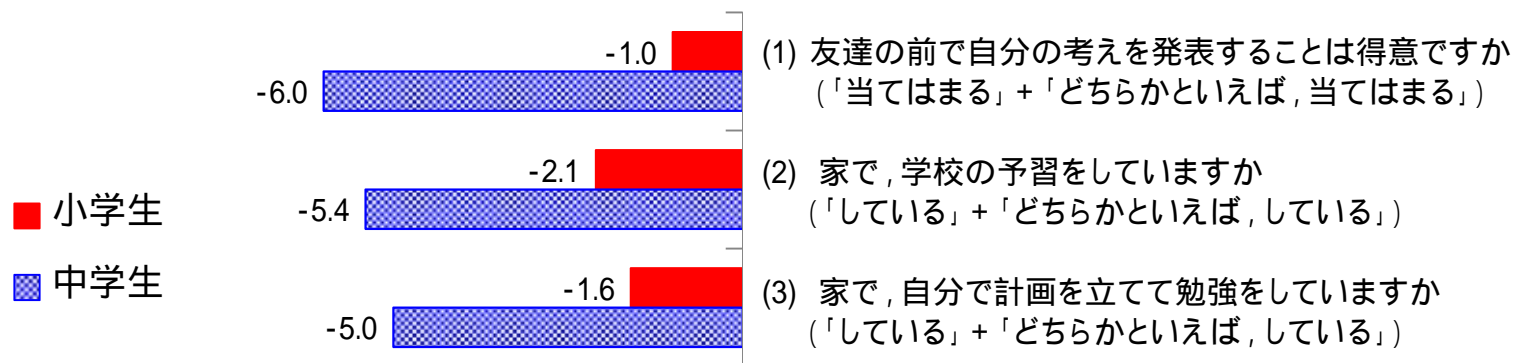
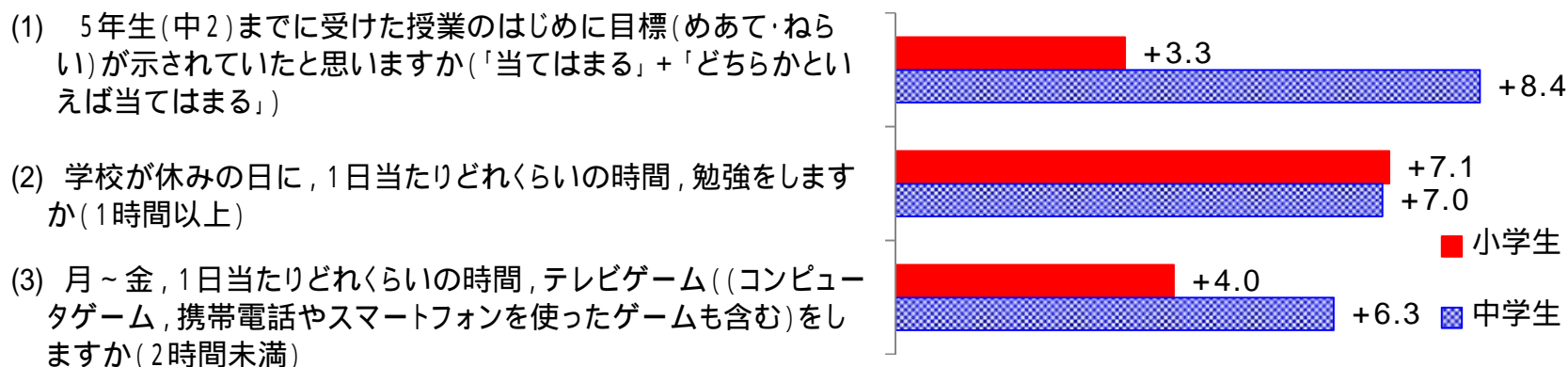
理科 : 8 管内（宇城，菊池，阿蘇，上益城，芦北，天草，山鹿市，熊本市）

- 3 児童生徒質問紙調査

熊本県の児童生徒は、「授業で目標やねらいが示されていたと思う」「休みの日の家庭学習時間（1時間以上）」などの項目で、全国平均に比べて高い状況にあります。しかし、「友達の前で自分の考えを発表することは得意か」「自分で計画を立てて勉強する」などの項目では、全国平均を下回っています。

本県と全国との差が大きかった3項目

全国平均との差

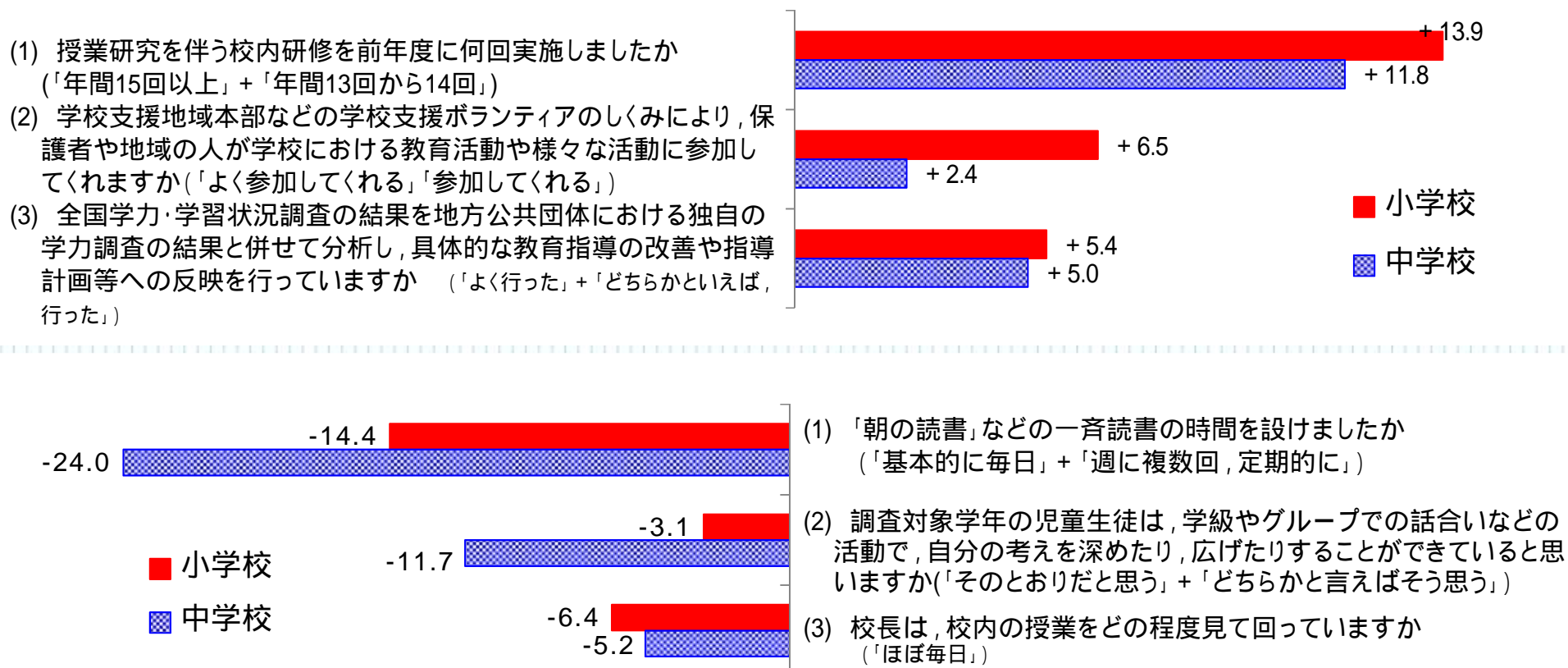


- 4 学校質問紙調査

熊本県の小中学校は、「授業研究を伴う校内研修」「保護者や地域住民の教育活動への参加」などの項目で、全国に比べ、実施回数が多い状況にあります。しかし、「『朝の読書』などの一斉読書の時間の設定」「学級やグループでの話し合いなどの活動」などの項目では、全国平均を下回っています。

本県と全国との差が大きかった3項目

全国平均との差



- 1 小学校国語
- 2 小学校算数
- 3 小学校理科
- 4 中学校国語
- 5 中学校数学
- 6 中学校理科

次のページに続きます。

- 1 小学校国語

- 1 小学校国語

- (1) 成果と課題
- (2) 改善が見られた問題
- (3) 新たに成果が見られた問題
- (4) 引き続き課題である問題
- (5) 新たに課題が見られた問題
- (6) 質問紙調査
- (7) 今後の取組

成 果

小学校国語

課 題

改善が見られた内容

文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすること

関連問題 A1

物語の登場人物の気持ちを想像しながら音読するときの工夫の仕方とその理由を書くこと

関連問題 B3二

引き続き課題である内容

筆者が、自分の考えを根拠付けるために引用している言葉を探すこと

関連問題 A5二

文章と図表内の情報を関係付けて、自分の考えを書くこと

関連問題 B2三

新たに成果が見られた内容

文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること

関連問題 A2二

作品募集案内の中から、必要な情報を読み取ること

関連問題 A7

新たに課題が見られた内容

話の内容に対する聞き方を工夫すること

関連問題 A3

取材相手の考えの「理由」と「表情や声の調子」の両方を整理して、記事を書くこと

関連問題 B1三

- 1 (2) 改善が見られた問題

小学校国語

改善された課題

物語の登場人物の気持ちを想像しながら音読するときの工夫の仕方とその理由を書くこと

B3二(本県67.8%, 全国66.6%, +1.2)

【話し合いの様子】

山田 一休さんが家来たちに、「とらを追い出してください。出て来ないとしばれませんからね。」と言ったところがおもしろいね。

小川 私もそう思うわ。とのさまが言った無理なことに対して、一休さんがちえを働かせているところよね。とのさまはおこって言い返したけれど、一休さんに「それはおかしい。」と言われて、「ううむ。」とうなってしまうね。

高木 最後に、とのさまは、「もうよい。わしの負けじゃ。」と言ったけれど、どんな気持ちだったのかな。どんなふうにもとむといいかな。いろいろな読み方を考えてみよう。

(問い) 「もうよい。わしの負けじゃ。」を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましょう。

条件 声に出して読むときにくふうすることを書くこと。くふうすることとしては、例えば、声の大きさや高さ、読む速さなどがある。

なぜそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、あなたが想像したとのさまの気持ちを取り上げること。

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

「昔話の大好きな場面を音読して紹介しよう」

- ・ 教師の様々な音読の仕方を聞き比べ、読み手の感じ方の違いで読み方が変わること気付く。
- ・ 工夫の観点を具体的に示す。(声の大きさや質、読む速さ、間の取り方など)
- ・ 繰り返し音読しながら、自分の感じ方に合わせて音読の工夫を考える。工夫の理由は、知識や経験と結び付けて考える。
- ・ 児童同士で読み合い聞き比べながら、互いに助言をし合い、自分の音読に生かす。
- ・ 自分で選んだ昔話について、音読の工夫を考える。

熊本県学力調査における関連問題

平成26年度県学力調査の小5問題3で、小泉八雲の伝記を読んで、人柄や考え方について感じたことを書く問題を出題しています。

- 1 (3) 新たに成果が見られた問題

小学校国語

問題の趣旨

文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

第1・2学年

「はした。」「かいた。」など、述語だけの文を示し、主語を補って文を作らせる。

第3・4学年

主語と述語が整った複数の例文を示し、「ものの名前を表す(何だ)」「動きを表す(どうした)」「様子を表す(どんなだ・～い)」の3つに分類させる。

第5・6学年

文を「構造」()や「性質、機能」()で分類させる。

単文、重文、複文

平叙文、呼び掛け、疑問文、応答文、命令や承諾を表す文、推定や伝聞を表す文、感動を表す文等

熊本県学力調査における関連問題

平成26年度県学力調査の小3問題2(5)で、文中から「主語」と「述語」を書き抜く問題を出題しています。

A2二(本県74.2%, 全国71.7%, +2.5)

【文の型】

ア 「何は(が)」「何だ」
イ 「何は(が)」「どうした」
ウ 「何は(が)」「どんなだ」

- 1 私は、国語の学習で感想文を書いた。
- 2 頂上から見える景色は、すばらしい。
- 3 日本で一番高い山は、富士山だ。

二 1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型に当てはまりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

- 1 (4) 引き続き課題である問題

小学校国語

課題

筆者が、自分の考えを根拠付けるために引用している言葉を探ること

- 【誤答例】
- ・「子ども読書」、「世界本の日」、「セロ弾きの」と解答している。(25.4%)
 - ・設問の「自分の思いや考えを根拠付ける」を、筆者の思いや考えを述べている言葉と誤って捉えている。(47.7%)

課題となった問題

A5二(本県18.1%, 全国19.8%, -1.7)

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉も適切な言葉のほじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点、読点、かぎは字数にふくみません。

1 ▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の^{※1}見事な描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、^{※2}かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。



【コラム】

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。

5 次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】です。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

指導のポイント

誤答について
引用の際は「 」で括ることや、引用というのは本や文章の一節や文、語句などを引いてくることへの理解に課題がある。

「根拠」についての理解に課題がある。

指導について

- ・ 「 」で括るといった引用の仕方と、引用したことについて自分の考えを書かせる指導を行う。その際、「自分の考えの補説」「説得力を高める」など、目的意識が重要である。
- ・ 引用については、児童が引用する目的や必要性を十分にもてる言語活動を位置付け、課題解決の過程において指導することが必要である。
- ・ 引用の対象には、図表やグラフ、絵や写真も含まれること、出典を明示することも指導する。

小学校国語

課題

課題となった問題

B1三(本県30.6%, 全国34.7%, -4.1)

あやとりのコーナーに参加し
てよかったわ。
それはね、一年生のみんなに
様々な形を教えてあげたら喜ん
でくれたからなの。
みなさんも準備が大変だった
ことでしょうね。町で会ったと
きにはいつでも声をかけてくだ
さい。今後の案内も楽しみにし
て待っていますね。

【中田とよさんへのインタビューの様子】
話した内容
三 【ふれあい新聞(六月号)】の(ア)の中には、あやとりの
コーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしまし
た。次の【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をま
とめて書きます。あとの条件に合わせて書きましよう。



中田とよさん

(表情や声の調子)

- ・目を細めている
- ・明るい声

条件

ぼう線部についての理由が分かる言葉を、話した内容
の中から、「」を使って取り出し、その言葉と 表情や
声の調子 の中の内容を合わせて、一文で書くこと。
書き出しに続けて、四十字以上、七十文字以内で書くこと。
なお、書き出しの言葉は字数に含む。

取材相手の考えの「理由」と「表情や声の調子」の両方を整理して、記事を書くこと

- 【誤答例】
- ・ 話した内容 の中から、「」を使って理由の部分を取り出していない。
 - ・ 表情や声の調子 の中の内容に合わせて書いていない。(いずれかを満たしていない, 53.9%)

指導のポイント

誤答について

指示語「それは」に着目し、傍線部を指し示していることや、文末の「～から」に着目し理由を表す文であることへの理解に課題がある。また、取材した内容を関係付けて書くことに課題がある。

指導について

- ・ キーワード、接続語、指示語、文末に線を引ながら読む。
- ・ インタビューの際は、相手が繰り返し話している内容や相手の印象的な様子をメモする。具体的に振り返るために、写真、録音機器等も活用する。
- ・ 取材した内容を整理して書く際は、事実、感想、意見を区別するとともに、目的や意図を確認し、読み手に伝えたいことの内容を明確にする。これを基に、内容を取捨選択するとともに、読み手に伝わるように、具体的な事実を書き加える。

児童質問紙から

多くの児童が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均より低い傾向にあります。

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

- 本県78.8%、全国77.7%、差 + 1.1

(昨年度から更に向上)

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。

「当てはまる」

- 本県18.9%、全国21.4%、差 - 2.5

(昨年度より拡大)

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

「当てはまる」

- 本県29.3%、全国32.1%、差 - 2.8

(昨年度より拡大)

学校質問紙から

補充的な学習指導の実施状況は、高い傾向にあります。目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業の実施状況も改善の傾向にあります。基礎的・基本的な事項を定着させる授業は依然として課題です。

国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

「よく行った」

- 本県23.2%、全国16.2%、差 + 7.0

(昨年度から更に向上)

国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県22.9%、全国22.1%、差 + 0.8

(昨年度から改善)

国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県50.6%、全国53.2%、差 - 2.6

(昨年度より縮小)

- 1 (7) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった国語科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること
目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと

新たに明らかになった課題

話の内容に対する聞き方を工夫すること
文章と図を関係付けて、自分の考えを書くこと

取組

授業の中で

課題解決の方法や展開をイメージした板書をする
こと
振り返りやまとめは、めあてと照らして行うこと
自分の考えを表現する際は、目的や条件に応じ
て、考えを支える根拠と理由も書かせること
単元終了後に、練習問題に取り組むこと

日々の取組の中で

授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その
取組を確認すること
語彙を豊かにするために、辞書で調べる習慣を
身に付けさせること
読書量を増やすために、朝読書や全校一斉読
書等の読書活動を推進すること

- 2 小学校算数

- (1) 成果と課題
- (2) 改善が見られた問題
- (3) 新たに成果が見られた問題
- (4) 引き続き課題が見られた問題
- (5) 新たに課題が見られた問題
- (6) 質問紙調査
- (7) 今後の取組

成 果

小学校算数

課 題

改善が見られた内容

式で表現された数量の関係を、図と関連付けて理解すること

関連問題 A8

平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解すること

関連問題 B1(1)(2)

引き続き課題である内容

他者に説明する場面で、自らの考えの根拠を適切に記述すること

関連問題 B5(1)

単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めること

関連問題 B2(1)

新たに成果が見られた内容

180°より大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えること

関連問題 A4(1)(2)

四捨五入して千の位までのおよその数にして計算できること

関連問題 B4(1)

新たに課題が見られた内容

計算の結果のおよその大きさを捉えること。加法における計算の確かめの方法を理解すること

関連問題 A1(1)(3)

示された情報から基準量を求める場面と捉え比較量と割合から基準量を求めること

関連問題 B2(2)

- 2 (2) 改善が見られた問題

小学校算数

改善された課題

示された場面と図を関連づけて考えること

A 8 (本県 90.4% , 全国 88.1% , + 2.3)

図1のように並んだ の個数の
求め方を考えます。

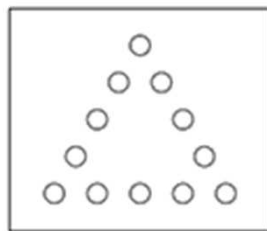


図1

図2, 図3のように を囲み,
の個数の数え方を式に表しました。

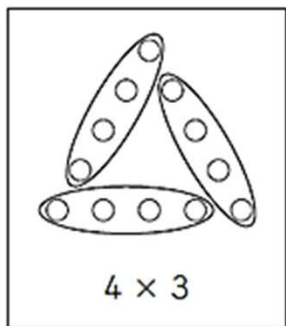


図2

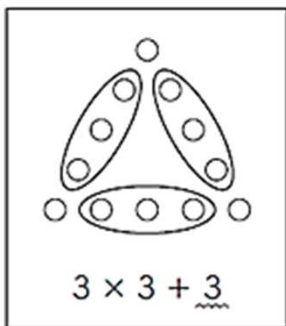


図3

図3の式の3はどの を表していますか。図のあてはまるすべての
の中を黒くぬりましょう。

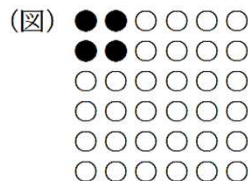
今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした練習問題例

- 「 $3 \times 3 + 3$ 」の式で, それぞれの「3」は図の中のどの部分を示していますか。
- の並べ方を正方形に変えると, の個数を数える式はどうなりますか。

熊本県学力調査における関連問題

下の図に をかき入れて「T」の文字を完成させましょう。「T」の文字は何人でできますか。何人かを数えるために必要な線や矢印をかき, その図にあった式と答えを書きましょう。



(式)

答え _____ 人

【平成 25 年度県学力調査小 4 問題】

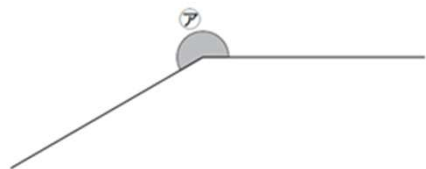
小学校算数

問題の趣旨 角の大きさを正しく測定すること

A4(1) (本県83.8%, 全国81.3%, +2.5)

A4(2) (本県59.8%, 全国58.0%, +1.8)

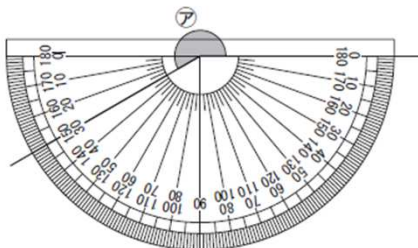
㉞の角の大きさをはかります。



(1) ㉞の角の大きさについて正しいものを、下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 90°未満である。
- 2 90°以上で、180°未満である。
- 3 180°以上で、270°未満である。
- 4 270°以上で、360°未満である。

(2) ㉞の角の大きさは何度ですか。答えを書きましょう。



今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした練習問題例

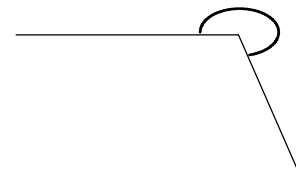
(左の図を提示し) ㉞の角の大きさは、だいたい何度になるか予想してみましょう。

実際に分度器を使って、㉞の角の大きさを確かめましょう。

「角の大きさの見当をつける」「角の大きさを測定する」「角の測定の結果を振り返って確かめる」の各活動を関連付けて、角の大きさを測定できるようにすることが必要です。

熊本県学力調査における関連問題

一組の三角じょうぎを使って、右の角の大きさを求めましょう。また、求め方がわかるように、式を書きましょう。(右の図に線を引いて考えてもかまいません。)



【平成25年度県学力調査小4問題】

- 2 (4) 引き続き課題である問題

小学校算数

課題

単位量あたりの大きさを用いて目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めること

【誤答例】

2または4と解答 (25.6%)

3と解答しているが代金を間違っている (7.1%)

課題となった問題

B問題

・B2(1)(本県63.4%, 全国64.8%, -1.4)

たか子さんは、おつかいに行きます。

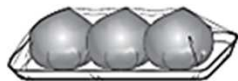
(1) まず、トマトを7個買います。お店では、トマトを次のように売っていました。



1個入りパック
100円



2個入りパック
180円



3個入りパック
270円

トマト7個の代金が最も安くなる買い方を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その買い方をしたときのトマト7個の代金を書きましょう。

- 1 1個入りパックを7つ買う。
- 2 2個入りパックを3つと、1個入りパックを1つ買う。
- 3 2個入りパックを2つと、3個入りパックを1つ買う。(正答)
- 4 3個入りパックを2つと、1個入りパックを1つ買う。

代金は630円

指導のポイント

誤答について

2または4を選択した児童が25.6%である。

2個入りパック、3個入りパックを含むことで、代金が安くなることは捉えています。1個入りパックを含まない買い方をしたときの代金が最も安くなることは捉えていないと考えられます。

数量の大小の比べ方について

この問題には、次の2つの解決方法があります。

- ・それぞれの代金を計算して比べる方法
- ・トマト1個あたりの値段を求め、1個あたりの値段が高いパックを含まない買い方を選択する方法

どちらの方法でも解決はできますが、1個あたりの値段を考える方法がより能率的です。目的に応じて適切な解決方法を選択する学習が必要です。

小学校算数

課題

計算の結果のおよその大きさが分かること
加法における計算結果を確かめる方法が分かること

課題となった問題

A問題

- ・A 1 (1) (本県69.5%, 全国71.0%, -1.5)
(3) (本県79.2%, 全国82.0%, -2.8)

1 (1) 8.9 - 0.78 のおよその答えとしてふさわしいものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 0.1 (12.9%) | 2 1 (4.3%) |
| 3 0.8 (12.1%) | 4 8 (69.5% : 正答) |

1 (3) 6.3 + 0.22 の答えを、6.52と求めました。
この答えが正しいかどうかを、次のように確かめます。
下の㊷, ㊸, ㊹に入る数を書きましょう。

㊷ - ㊸ を計算して、㊹ になるかどうかを確かめます。

誤答例: $6.3 - 0.22 = 6.52$ (5.7%)

指導のポイント

計算の結果を見積もることについて(1(1))
計算の結果を適切に求めるためには、計算の手順を理解するだけでなく、場面や状況に応じて次のような見積もり方を選択できるようにすることが大切です。

- ・きりのよい数に近づけて考えること(1に近い, 100に近いなど)
- ・基準を設けて考えること(半分より大きい, 小さいなど)
- ・四捨五入や切り上げ, 切り捨てなどの処理をすること

計算の結果を振り返って確かめることについて(1(3))
計算の結果を振り返って確かめることは、計算の結果の誤りを防ぐうえで大切です。
そこで、整数の加法や減法を例に挙げ、加法と減法の関係を見直し、それをもとに計算の結果を確かめる方法を確認する活動を取り入れましょう。

計算の能力について
【計算の結果を見積もる】【計算の仕方を考える】【計算の結果を振り返って確かめる】の各活動を関連付けて指導することが大切です。

児童質問紙

公式やきまりのわけを理解しようとした児童の割合では昨年度より全国との差が縮小しています。逆に、もっと簡単に解く方法がないか考えた児童の割合では、全国との差が広がっています。

今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

・本県73.4%、全国73.3%、差 + 0.1

(昨年度と同じ)

算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

「当てはまる」

・本県45.3%、全国46.9%、差 - 1.6

(昨年度より拡大)

算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

「当てはまる」

・本県43.7%、全国46.6%、差 - 2.9

(昨年度より縮小)

学校質問紙

補充的な学習の指導や、習熟の遅いグループに対する少人数指導の実施状況は、昨年度同様高い傾向にあります。一方、授業時における計算問題などの反復練習の実施状況は更なる改善が必要です。

算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

「よく行った」

・本県48.1%、全国39.9%、差 + 8.2

(昨年度より拡大)

算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしていますか。

「年間授業のおおよそ3/4以上」

・本県30.7%、全国21.7%、差 + 9.0

(昨年度より拡大)

算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。

「よく行った」

・本県55.8%、全国58.4%、差 - 2.6

(昨年度より縮小)

- 2 (7) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった算数科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

自らの考えの根拠を適切に記述すること
単分量あたりの大きさの考え方を活用すること

新たに明らかになった課題

計算の結果のおよその大きさを捉え、確かめの方法を理解すること
示された情報から、基準量、比較量、割合の関係をとらえること

取組

授業の中で

めあてを確認し、板書すること
学習を振り返り、まとめを必ず行うこと
考えを適切に表現するための方法を指導すること
適用問題に取り組むこと

日々の取組の中で

授業内容に応じた家庭学習の課題をだすこと
課題がある内容は、繰り返し学習する場を設けること
児童のノートを丁寧に確認し、適切な指導を行うこと

- 3 小学校理科

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題となった問題
- (4) 質問紙調査
- (5) 今後の取組

成 果

小学校理科

課 題

成果が見られた内容

メダカの雌雄を見分ける方法を理解すること
関連問題 2(1)

振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できること
関連問題 1(2)

メスシリンダーの名称を理解し、適切な使い方を身に付けていること
関連問題 3(4), (5)

溶けきれなくなって出てきた砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できること
関連問題 3(6)

課題が見られた内容

星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析すること
関連問題 4(4)

月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解していること
関連問題 4(2)

水の温まり方を考察するために、実験結果を基に、自分の考えを改善すること
関連問題 3(3)

グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること
関連問題 4(6)

- 3 (2) 成果が見られた問題

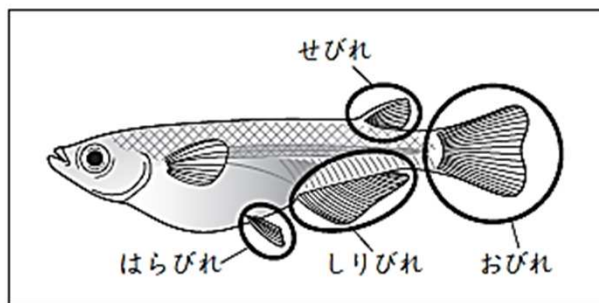
小学校理科

問題の趣旨

メダカの雌雄を見分ける方法を理解しているかどうかをみる。

正答率が最も高く、全国平均を最も上回った問題
2(1) ・本県89.2%、全国78.0%、(+11.2)

- (1) よし子さんは、水そうの中におすとめすのメダカがいるかどうかを調べることにしました。メダカのどの部分を見ると、おすとめすを見分けることができますか。下の1から4までの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 せびれ
- 2 はらびれ
- 3 しりびれ
- 4 おびれ

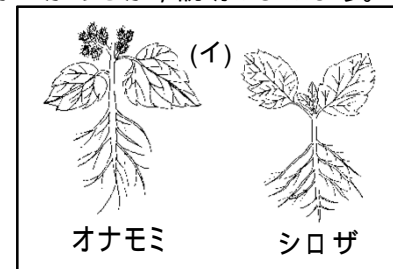
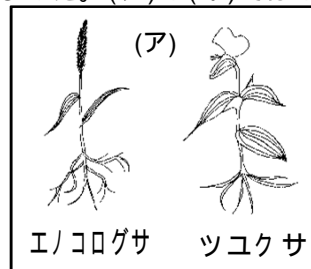
今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

生物の特徴の理解については、はじめから教師が説明するのではなく、児童に観察の時間を十分与え、観察記録や児童の気付きから、類似点や相違点などに気付かせるような学習活動を展開する。

熊本県学力調査における関連問題

- (5) 学級園やそのまわりに下の図のような植物がはえてきました。それらをくらべてかんさつし、からだのつくりのちがいをもとに、(ア)と(イ)に分けました。(ア)と(イ)ではどんなちがいがあるか、説明しましょう。



【平成22年度県学力調査小3問題】

- 3 (2) 成果が見られた問題

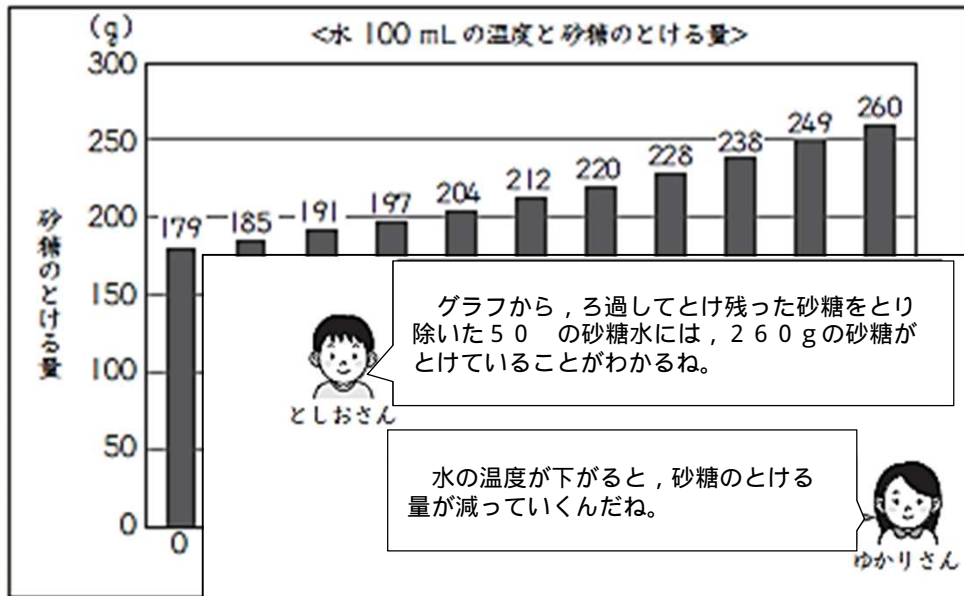
小学校理科

問題の趣旨

成果が見られた問題

正答率が全国平均を上回った問題

3(6)・本県30.5%, 全国28.9%, (+1.6)



グラフから、ろ過してとけ残った砂糖をとり除いた 50 の砂糖水には、260 g の砂糖がとけていることがわかるね。

水の温度が下がると、砂糖のとける量が減っていくんだね。



前のページのグラフから考えると、砂糖水を 5 の冷蔵庫からとり出したとき、とけきれなくなってたまっていた砂糖は何 g だと考えられますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

溶けきれなくなって出てきた砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できるかどうかをみる。

今後更に力を伸ばすために

天気の様子と気温の変化、水の状態変化と温度の変化などの学習において、観察・実験の結果をグラフに表し、変化とその要因を関係付けて考える活動を重視した授業を展開する。

熊本県学力調査における関連問題

理科室の黒板

もののとけ方

学習問題
同じ量の水にとける食塩とミョウバンの量には、ちがいがあのだろうか。

実験方法

- 水 50 mL をビーカーに入れて食塩を 1 g ずつ入れてよくかき混ぜ、食塩がとけ残るまでくり返す。
- とけ残りがでたら、それまでとけた量をグラフに記録する。
- ①と②の作業をミョウバンでも行う。

予想

たくやさんの予想
同じ量の水にとける食塩とミョウバンの量には、ちがいがあと思います。
そのわけは、食塩とミョウバンを水にできるだけかしたとき、ミョウバンは、水にあまりとけないうるからです。

たくやさんは、学習問題について左のように予想しました。たくやさんの予想をもとにすれば、実験結果のグラフはどのようになるか、左の 3 つのグラフから選んで () に をつけましょう。

()

()

() ④

【平成 25 年度県学力調査小 6 問題】

- 3 (3) 課題となった問題

小学校理科

課題

星座と雲の動きについて、観察記録を基に規準となる目印と照らし合わせて考察して分析すること

【誤答例】

- ・「星座は右、雲は左に動いた」と解答 (13.1%)
- ・「星座は左、雲は星座より大きく左に動いた」と解答 (11.5%)

課題となった問題

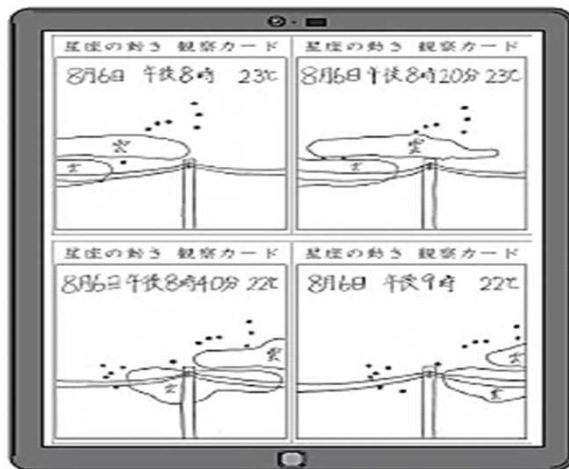
正答率が全国平均を下回った問題

・4(4) 本県63.4%、全国65.0% (-1.6)



星座と星座をかくしていた姿を記録したよ。

観察カードを見ると、星座がどのように動いたのかわかったよ。



(4) ゆりえさんが送った4枚の観察カードから、星座や星座をかくしていた雲は、ゆりえさんから見てどのように動いたと考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 星座は左に動き、星座をかくしていた雲は右に動いた。
- 2 星座は左に動き、星座をかくしていた雲は星座よりも大きく左に動いた。
- 3 星座は右に動き、星座をかくしていた雲は左に動いた。
- 4 星座は右に動き、星座をかくしていた雲は星座よりも大きく右に動いた。

指導のポイント

第3学年で身に付けた「太陽が東から南を通過して西の方に動いていく」という考えを基に、星の動きと太陽の動きを関係付けて予想させ、見通しをもって観察できるようにする。

また、星座の位置の変化を捉えさせるために、定点観察の方法を身に付け、観察した結果の記録を時刻ごとに並べ、目印にした物を基準として星座や雲の位置がどのように変化しているかについて考えさせることも大切です。

- 3 (3) 課題となった問題

小学校理科

課題

水の温まり方を考察するために、実験結果を基に他者の考えを認識し、自分の考えを改善すること

【誤答例】

- ・「としおさんの予想と同じ考え」と解答 (22.8%)
- ・「りか子さんの予想と同じ考え」と解答 (15.4%)

課題となった問題

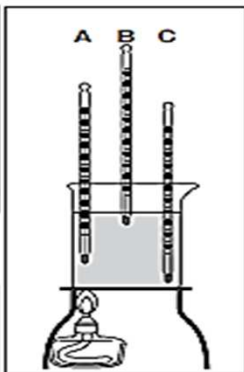
正答率が全国平均を下回った問題

・3(3) 本県50.9%, 全国51.7% (-0.8)

(3) 実験した結果は、下の表のようになりました。

<水の温度の上がり方>

	0分	2分後	4分後	6分後	8分後
温度計A	25℃	37℃	45℃	52℃	58℃
温度計B	25℃	34℃	41℃	48℃	54℃
温度計C	25℃	30℃	38℃	45℃	53℃



実験結果から、あたためられた水の動き方は、ぼくの予想とちがっていたな。
この結果から考え直すと(イ)になるな。

あきらさん

あきらさんのことばの(イ)の中にあてはまるものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ゆかりさんの予想と同じ考え
- 2 としおさんの予想と同じ考え
- 3 りか子さんの予想と同じ考え
- 4 3人の予想とはちがう考え

指導のポイント

実験をする前に、問題に対する予想や仮説を明らかにし、話し合いを通して、自分の考えと他者の考えの違いを捉えさせましょう。

また、実験後には、実験の結果を予想や仮説と照らし合わせて考察させることが大切です。

その際、実験で得られた個々のデータを個人やグループで見直し、共通性や傾向性に着眼して考察させることが必要です。

自分の考えだけでなく、他者の考えを受け入れ、自他の予想や仮説を検討する場を学習過程に位置付けることで、自分の考えをより妥当なものに改善できるようにしましょう。

- 3 (4) 質問紙調査

児童質問紙

理科の勉強、観察や実験を行うことが好きである児童の割合は、全国平均より高い傾向にあります。

学習内容を日常生活に活用できないかを考えること、観察や実験の振り返りについても、全国平均より高い傾向にあります。

予想をもとに観察や実験の計画を立てることについては、全国平均を下回っていますが、平成24年度に比べ改善傾向にあります。

理科の勉強は好きですか。

・本県85.9%，全国83.5%，差 + 2.4

観察や実験を行うことは好きですか。

・本県92.1%，全国90.1%，差 + 2.0

理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

・本県72.2%，全国69.3%，差 + 2.9

観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。

・本県69.6%，全国67.1%，差 + 2.5

自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。

・本県74.9%，全国75.3%，差 - 0.4

割合は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計

学校質問紙

補充的な学習や発展的な学習の実施状況は、全国平均より高い傾向にあります。

また、科学的な体験や自然体験をする授業、仮説を基に観察・実験の計画を立てさせる授業の実施状況、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習を課すことについても、全国平均より高い傾向にあります。

理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

・本県91.1%，全国84.0%，差 + 7.1

理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。

・本県63.2%，全国47.2%，差 + 16.0

理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか。

・本県86.7%，全国81.6%，差 + 5.1

理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか。

・本県97.8%，全国84.3%，差 + 13.5

割合は、「よく行った」「どちらかといえば行った」の合計

- 3 (5) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった理科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

実験・結果を基に実験方法について条件制御の観点から改善を図ること
グラフを基に実験結果を分析し根拠を示すこと

新たに明らかになった課題

観察・実験の結果をグラフや図表などに表し、変化とその要因を関係付けて考えること
観察記録を時系列で捉え、星座や雲の変化の様子を考察できること

取組

授業の中で

予想や仮説をもち、実験結果を見通しながら実験を計画すること
実験結果を予想と照らし合わせ、より妥当な考えに改善できるようにすること
観察・実験を適切に記録し、表やグラフなどに表せるようにすること

日々の取組の中で

科学的な言葉の意味を的確に捉え、日常生活に当てはめて考えられるようにすること
定点観察の技能と記録の仕方を身に付け、適切に記録できるようにすること

- 4 中学校国語

- (1) 成果と課題
- (2) 改善が見られた問題
- (3) 新たに成果が見られた問題
- (4) 引き続き課題である問題
- (5) 新たに課題が見られた問題
- (6) 質問紙調査
- (7) 今後の取組

成 果

中学校国語

課 題

改善が見られた内容

「竹取物語」の現代語訳に対応する古文を選ぶこと

関連問題 A 9 七

発表の中で、オカリナを演奏するタイミングの理由を、ノートの内容と関係付けて書くこと

関連問題 B 1 三

引き続き課題である内容

文章とグラフから2020年の社会を予想して、自分は社会とどのように関わるのかについて書くこと

関連問題 B 2 三

物語の最後の一文はあった方がよいかどうかについて、自分の考えと根拠を書くこと

関連問題 B 3 三

新たに成果が見られた内容

「永」という字を、毛筆を用いて楷書で書くこと
敬語「参ります」を理解し、適切に使うこと

関連問題 A 2 二 A 9 三ウ

事前の準備を基に、聞き手の反応に合わせた発表をすること

関連問題 B 1 一

新たに課題が見られた内容

「青い(形容詞)」と「青さ(名詞)」の品詞の違いを理解すること

関連問題 A 9 四

雑誌の記事を読んで、要旨を捉えること

関連問題 B 2 二

- 4 (2) 改善が見られた問題

中学校国語

改善された課題

A9七(本県75.7%, 全国75.3%, +0.4)

1 【漫画の一部】のある部分、【古典の文章の一部】のどの部分と対応していますか。対応している部分として最も適切なものを、【古典の文章の一部】の線部⑦から⑩までのの中から一つ選びなさい。

「何事思ひたまふぞ。おぼすらむこと、何事ぞ」と言へば、「思ふこともなし。物なむ心細くおぼゆる」と言へば、翁、「月な見たまひぞ。これを見たまへば、物おぼす気色はあるぞ」と言へば、「いかで月を見ではあらむ」とて、(やはり月が出ると、縁側に出て座り、ため息をついている。)

【漫画の一部】
(省略)
【古典の文章の一部】

七次は、【漫画の一部】とその場面の【古典の文章の一部】です。【古典の文章の一部】の()の中には現代語訳で書かれています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

「竹取物語」の現代語訳に対応する古文を選ぶこと

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

古典に親しむための指導の工夫

- ・「竹取物語」の本のジャンルは何か考える。
発問例「自分なら、書店のどのコーナーに並べますか。」
「かぐや姫」の話を想起し、ミステリー、SFなど、どのジャンルが自分なりに予想する。
「人物相関図」の作成を通して、あらすじをとらえる。
- ・書店のどのコーナーに並べるかについて、自分の決めた根拠を、古文の文中の言葉や場面から探し、自分の考えの理由を読書経験や体験と関連付けて説明する。

熊本県学力調査における関連問題

平成26年度県学力調査の中1問題3で、狂言「神鳴り」について、古文と現代語訳の対応を考えて要約する問題を出題しています。

- 4 (3) 新たに成果が見られた問題

中学校国語

問題の趣旨

B1ー(本県75.6%, 全国73.2%, +2.4)

発表の流れ	その他の情報 状況に応じて使用する
聞き手を見てから話し始める ○最初の言葉	
・オカリナはハトの形に似た楽器。 ・イタリアで生まれた世界に広まった。 ・イタリア語では、「小さなガチョウ」という意味である。	ガチョウの頭の形に似ているなど様々な説がある。
問いかけて 間を置く	
以下省略	

1 森田さんは、国語の時間に、自分の特技についてスピーチをする学習に取り組んでいます。
次は、発表の際に使用する【ノート】と【フリップ】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

ー 森田さんが、【ノート】の「その他の情報」の欄に書いたことは、どのような場合に役立てることが出来ますか。次の1から4までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

1 発表の順番を場の様子に応じて変える場合。
2 聞き手から出された質問に答える場合。
3 時間に余裕があるときに付け足して説明する場合。
4 言葉の抑揚や強弱、間の取り方を変える場合。

事前の準備を基に、聞き手の反応に合わせた発表をすること

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

目的や状況、相手に応じた資料の効果的な活用
「スピーチで思いを伝えよう」

- ・話の要点を明確にする。
- ・聞き手の理解を促すための資料を準備する。
- ・資料や話は、聞き手の反応や時間的な余裕に応じて追加や変更できるものも準備する。
- ・時間を計りながら、ペアや班で練習する。
- ・練習後に、分かりやすかったもしくは分かりにくかった点について、内容や資料を根拠とし、理由を交えて具体的に助言する。

熊本県学力調査における関連問題

毎年、県学力調査では、聞き取り問題で発表や話し合いの工夫に関する問題を出題しています。平成26年度の中2問題1では、事前の準備で発表メモを作る問題を出題しています。

- 4 (4) 引き続き課題である問題

中学校国語

課題

複数の資料を読んで問題意識をもったり新たな発想を得たりするなど適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと

【誤答例】・設問の自分が社会にどのように関わっていきたいかを、具体的に書いていない(45.0%)

・資料の内容を適切に書いていない(25.9%)

課題となった問題

B2三(本県24.1%, 全国23.0%, +1.1)

2 次の資料は、【A ウェブページの文章】、
【B 日本の人口推移を表したグラフ】(予想を含みます。)、【C 雑誌の記事の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

三 あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのように関わっていきたいと思いますか。あなたの考えを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 資料【A ウェブページの文章】、
【B 日本の人口推移を表したグラフ】、
【C 雑誌の記事の一部】の中からいずれか二つを選び(どの資料を選んででもかまいません。)、それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。

条件2 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、
八十字以上、百二十字以内で書くこと。

指導のポイント

誤答について

多様な情報に触れながら、問題意識を持つことや新たな発想を持つことに課題があります。また、自分が予想したことや自分がやりたいことなどを具体的に書くことに課題があります。

指導について

複数の本や資料から得た情報を、自分と結び付けて考えることが重要です。その際、資料に書かれていることを正確に理解した上で、感じたことや考えたことを他の人に話したり、文章に書いたりして、新たな気付きや問題意識を明らかにすることが大切です。

自分の考えを深めたり広げたりするには、図書館等を利用し、主体的に情報を探することも必要です。

【参考】平成24年度全国学力学習状況調査問題

【小学校】B3四

中学校国語

課題

名詞が主語となるなど、それぞれの品詞が文のどのような成分になるかを理解すること

- 【誤答例】
- ・形容詞と解答(23.5%)
 - ・形容動詞と解答(34.4%)

課題となった問題

A9四(本県32.8%, 全国33.7%, -0.9)

4 3 2 1

名詞
動詞
形容詞
形容動詞

イ 大きな器の青さが私の目を引きつけた。
ア 大きな青い器が私の目を引きつけた。

これは「青い」という()を、「青さ」という()に変えて、主語にしているためです。

私は伝えたい内容が明確になるように、次の文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引きつけたことが伝わります。

四 次の文章の()と()に当てはまるものとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中からそれぞれ一つ選びなさい。

指導のポイント

誤答について

名詞が主語の場合など、品詞が文中でどのような成分になるかの理解に課題があります。

「青い」という単語がもつ文法的な役割や品詞の名称の理解に課題があります。

指導について

単語を正しく類別するためには、文法的な知識として学習するだけでなく、具体的な文章を通して考えるように指導します。

例えば、伝えたい内容を明確にするためには、どんな語順にすればよいか検討させるとともに、それぞれの単語が文の中でどんな働きをしているのか考えさせます。これは目的に応じた文章を書くことにもつながります。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域の学習の中で、単語の類別について意図的に取り上げることでも知識の定着を図るうえで大切です。

生徒質問紙

多くの生徒が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均より低い傾向にあります。

今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

- 本県77.3%、全国76.4%、差 + 0.9
(昨年度より縮小)

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。

「当てはまる」

- 本県10.7%、全国14.4%、差 - 3.7
(昨年度より拡大)

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

「当てはまる」

- 本県18.1%、全国22.0%、差 - 3.9
(昨年度より拡大)

学校質問紙

目的や相手に応じて話したり聞いたりする取組の実施状況は高い傾向にあります。一方、様々な文章を読む習慣を付けることや、基礎的・基本的な事項を定着させる授業の実施状況は、低い傾向にあります。

国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。 「よく行った」

- 本県23.7%、全国21.3%、差 + 2.4
(昨年度より縮小)

国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県20.1%、全国25.4%、差 - 5.3
(昨年度より拡大)

国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。 「よく行った」

- 本県50.3%、全国60.3%、差 - 10.0
(昨年度より縮小)

- 4 (7) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった国語科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

複数の資料から必要な情報を選び、それを活用して自分の考えを具体的に書くこと
文章の構成や展開を踏まえて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

新たに明らかになった課題

単語の品詞の類別について理解すること
雑誌の記事を読んで、要旨を的確に捉えること

取組

授業の中で

課題解決の方法や展開をイメージした板書をする
こと
振り返りやまとめは、めあてと照らして行うこと
自分の考えを表現する際は、目的や条件に応じた、
考えの根拠と理由も書かせること
単元後に、練習問題に取り組むこと

日々の取組の中で

授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その
取組は確認すること
語彙を豊かにするために、辞書で調べる習慣を
身に付けさせること
読書量を増やすために、朝読書や全校一斉読
書等の読書活動を推進すること

- 5 中学校数学

- (1) 成果と課題
- (2) 改善が見られた問題
- (3) 新たに成果が見られた問題
- (4) 引き続き課題が見られた問題
- (5) 新たに課題が見られた問題
- (6) 質問紙調査
- (7) 今後の取組

成 果

中学校数学

課 題

改善が見られた内容

関数の意味を理解すること

関連問題 A9

問題場面において考える対象を明確にとらえ、
式で表現すること 関連問題 B2(1)

発展的に考え、予想した事柄を説明すること

関連問題 B2(3)

引き続き課題である内容

垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解すること

関連問題 A4(1)

図形の証明を振り返り、新たな性質を見いだしたり、条件を変えた場合について証明したりすること

関連問題 B4(1)(2)

新たに成果が見られた内容

起こり得る場合を順序よく整理し、場合の数を求めること

関連問題 A15(1)

さいころを使った確率の意味が分かること

関連問題 A15(2)

新たに課題が見られた内容

具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくること

関連問題 A3(3)

空間における直線と平面の垂直について理解すること

関連問題 A5(1)

- 5 (2) 改善が見られた問題

中学校数学

改善された課題

B2(3)(本県67.4%,全国63.8%,+3.6)

【予想】

連続する3つの整数の和は、中央の整数の3倍になる。

(1)の問題内容

連続する3つの整数が19, 20, 21のとき予想が成り立つかどうかを実際に計算して確かめる。

(2)の問題内容

【予想】がいつでも成り立つことを文字 n を使って説明する。

(3)の問題内容

連続する3つの整数を、連続する5つの整数に変えた場合、その和がどんな数になるかを調べます。

1, 2, 3, 4, 5のとき $1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15$

5, 6, 7, 8, 9のとき $5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 35$

14, 15, 16, 17, 18のとき $14 + 15 + 16 + 17 + 18 = 80$

⋮

⋮

⋮

連続する5つの整数の和は、中央の整数に着目すると、どんな数になると予想できますか。上の予想(枠内)のように、「～は～になる」という形で書きなさい。

発展的に考え、予想した事柄を説明すること

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした練習問題例

- 1 連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の何倍になるか予想しましょう。
- 2 連続する5つの偶数の和は、中央の偶数の何倍になるか予想しましょう。

熊本県学力調査における関連問題

連続する3つの奇数の和は中央の奇数の3倍になる

この予想は正しいと言えます。前の説明を参考にして、この予想が正しいことの説明を完成しなさい。

説明

n を自然数とすると、

連続する3つの奇数は、 $2n-1$ 、 $2n+1$ 、 $2n+3$ と表される。

それらの和は、

$$(2n-1) + (2n+1) + (2n+3) = 2n-1 + 2n+1 + 2n+3$$

したがって、連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。

【平成26年度県学力調査中2問題】

- 5 (3) 新たに成果が見られた問題

中学校数学

問題の趣旨

場合の数を求めること 確率の意味を理解すること

A 15 (1) (本県 77.8% , 全国 74.8% , + 3.0)
(2) (本県 57.9% , 全国 55.4% , + 2.5)

(1) あるレストランのセットメニューでは、次の A , B , C からそれぞれ一品ずつ選んで注文します。その選び方は全部で何通りあるか求めなさい。

A

・エビフライ
・ハンバーグ

B

・ライス
・パン

C

・アップルジュース
・オレンジジュース
・グレープジュース

(2) 1 の目が出る確率が $1/6$ であるさいころがあります。このさいころを投げるとき、どのようなことが言えますか。

下のアからオまでの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

ア 5 回投げて 1 の目が 1 回も出なかったとすれば、次に投げると必ず 1 の目が出る。

イ 6 回投げるとき、そのうち 1 回は必ず 1 の目が出る。

ウ 6 回投げるとき、1 から 6 までの目が必ず 1 回ずつ出る。

エ 30 回投げるとき、そのうち 1 の目は必ず 5 回出る。

オ 3000 回投げるとき、1 の目はおよそ 500 回出る。

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした練習問題例

((1) の A B C を提示して次のように問う。)
あるレストランのセットメニューでは、次の A、B、C からそれぞれ一品ずつ選んで注文します。その選び方を全てかき表しなさい。

熊本県学力調査における関連問題

ハンバーガーショップのランチセットは 3 種類のハンバーガーと 2 種類のサラダと 3 種類の飲み物から 1 つずつ選ぶことができます。このとき、次の各問いに答えなさい。

ビーフバーガー

ポテトサラダ

コーラ

チキンバーガー

ツナサラダ

オレンジジュース

フィッシュバーガー

ウーロン茶

ビーフバーガーを選ぶランチセットは、6 種類あります。下のアからオのほかにどんな選び方がありますか。残りの選び方を答えなさい。

ア ビーフバーガー、ポテトサラダ、コーラ

イ ビーフバーガー、ツナサラダ、オレンジジュース

ウ ビーフバーガー、ツナサラダ、コーラ

エ ビーフバーガー、ポテトサラダ、ウーロン茶

オ ビーフバーガー、ツナサラダ、ウーロン茶

【平成 25 年度県学力調査中 1 問題】

- 5 (4) 引き続き課題である問題

中学校数学

課題

発展的に考え、条件を変えた場合について証明すること

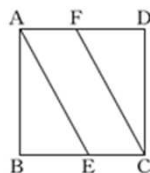
課題となった問題

B4(2)(本県46.1%, 全国49.6%, -3.5)

問題

正方形ABCDの辺BC, DA上にBE = DFとなる点E, Fをそれぞれとります。

このとき, AE = CFとなることを証明しなさい。



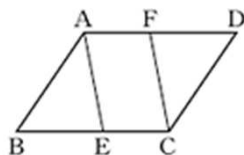
(1)の内容

証明を見て, 新たに分かることを提示された例から選ぶ。

(2)桃子さんは, 問題の正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても, AE = CFとなることを証明できることに気づきました。桃子さんの証明の□の中を書き直し正方形を平行四辺形に変えたときの証明を完成しなさい。

証明

ABEとCDFにおいて,
仮定より, BE = DF.....



よ, 2組の辺とその間の角がそれぞれ
等しいから, $\triangle ABE \cong \triangle CDF$
合同な図形の対応する辺は等しいから, $AE = CF$

【正答の条件】次の2点の根拠を書いていること。

「 $AB = CD$ 」 「 $\angle ABE = \angle CDF$ 」

【誤答例】

正答の条件に全く当てはまらない解答 (20.7%)

無解答 (17.9%)

指導のポイント

誤答について

誤答の中には, 四角形AECFが平行四辺形であることを前提としたり, 結論を根拠にしたりするなどして, 三角形の合同条件「2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい」に当てはめようとしていると考えられます。

問題の条件を変えて発展的に考えることについて

この問題は, (1)の証明にある

「 $\angle ABE = \angle CDF = 90^\circ$ 」の, 「 $= 90^\circ$ 」という条件がなくても証明できることが分かれば解決できます。

証明に用いる合同条件は「2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい」ことです。

また, 根拠とする相等関係は「 $BE = DF$ 」「 $AB = CD$ 」「 $\angle ABE = \angle CDF$ 」です。

このようにある条件を変更(今回は正方形→平行四辺形)しても, 変わらない条件があることを経験させる学習が必要です。

- 5 (5) 新たに課題が見られた問題

中学校数学

課題

具体的な場面で数量の関係をとらえ、連立二元一次方程式をつくること

課題となった問題

A3 (3) (本県42.3%, 全国44.9%, -2.6)

【問題】

ある中学校の今年度の入学者数は男女合わせて223人で、昨年度の入学者数より3人増えました。男子は昨年度より5%増え、女子は昨年度より3%減りました。昨年度の男子の入学者数と女子の入学者数を求めなさい。

この問題を解くために、昨年度の男子の入学者数を x 人、昨年度の女子の入場者数を y 人として、連立方程式をつくります。

次の に当てはまる式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

$$\begin{cases} x + y = 220 \\ \text{ } = 223 \end{cases}$$

- ア $0.05x + 0.03y$
イ $0.05x - 0.03y$
ウ $1.05x + 0.97y$ (正答)
エ $1.05x - 0.97y$

【誤答例】

ア と解答 (16.0%) イ と解答 (32.0%)

指導のポイント

誤答について

アまたはイを選んだ生徒が全体の48%います。これらの中には、男女それぞれの昨年度と今年度の入学者数の増減だけに着目して式を立てた生徒がいると考えられます。

方程式をつくることについて

この問題を解決するには、問題の中の数量やその関係から、2通りに表すことができる数量を見つけ、方程式をつくる必要があります。

	男子	女子	合計
昨年度	x	y	220
人数の増減	$+0.05x$	$-0.03y$	+3
今年度	$1.05x$	$0.97y$	223

問題場面をこのような表に整理することで、等しい関係にある量が分かりやすくなります。

生徒質問紙

記述式問題の解答を最後まで書こうとした生徒の割合が、全国を下回りました。また、もっと簡単に解く方法を考えたり、公式やきまりの根拠を理解したりすることも、全国平均との差が昨年度より広がっています。

今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

・本県50.9%、全国51.3%、差 - 0.4

(昨年度の + 1.4から低下)

数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

「当てはまる」

・本県30.3%、全国33.5%、差 - 3.2

(昨年度より拡大)

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。

「当てはまる」

・本県26.6%、全国32.6%、差 - 6.0

(昨年度より拡大)

学校質問紙

習熟度別指導の実施状況について高い傾向があります。また、授業の中で、計算問題などの反復練習を行うことについても、昨年度に比べ全国平均との差が縮小傾向にあります。

数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか。

「年間授業の3 / 4以上」

・本県30.8%、全国19.0%、差 + 11.8

(昨年度より縮小)

数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか。

「年間授業の3 / 4以上」

・本県25.4%、全国14.3%、差 + 11.1

(昨年度より拡大)

数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。

「よく行った」

・本県53.8%、全国55.9%、差 - 2.1

(昨年度より縮小)

- 5 (7) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった数学科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

作図と図形の性質の関係を理解すること
条件を変えた場合に成り立つ性質を証明すること

新たに明らかになった課題

具体的な事象における数量の関係をとらえ、連立二元一次方程式をつくること
空間における直線と平面の垂直について理解すること

取組

授業の中で

めあてを確認し、板書すること
学習を振り返り、まとめを必ず行うこと
考えを適切に表現するための方法を指導すること
適用問題に取り組むこと

日々の取組の中で

授業内容に応じた家庭学習の課題を出すこと
課題がある内容は、繰り返し学習する場を設けること
児童のノートを丁寧に確認し、適切な指導を行うこと

- 6 中学校理科

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題となった問題
- (4) 質問紙調査
- (5) 今後の取組

成 果

中学校理科

課 題

成果が見られた内容

背骨のある動物を，セキツイ動物と表すこと
関連問題 8(1)

技術の仕組みを示す場面において，スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明すること
関連問題 5(2)

他者の考察を検討して改善し，課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述すること
関連問題 8(3)

オームの法則を使って，抵抗の値を求めること
関連問題 5(1)

課題が見られた内容

炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画すること
関連問題 1(5)

日常生活の場面において，音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘すること
関連問題 6(1)

音の高さは，空気の部分の長さに関係していることを確かめる実験を計画すること
関連問題 6(2)

塩化ナトリウムを化学式で表すこと
関連問題 1(1)

中学校理科

問題の趣旨

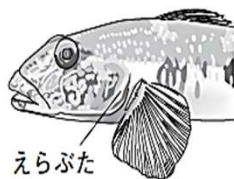
背骨のある動物をセキツイ動物と表すこと

成果が見られた問題

正答率が高く、全国平均を上回った問題

・8(1) 本県74.2%, 全国63.9%, (+10.4)

8 健さんは飼育している数種類の魚を観察していたところ、季節によってえらぶたの動きに違いがあることに気づき、実験を行いました。



(1) ハゼのように背骨のある動物を、背骨のない動物に対して何といいですか。その名称を書きなさい。

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

分類の視点(ふえ方と数, 卵の様子等)を明確にして, 食性, 生息場所などを標本と合わせて表示したり, 博物館やインターネットなどと連携した学習を設定したりして興味関心を高め, 学習を深めるようにする。

熊本県学力調査における関連問題

3 なつきさんは、セキツイ動物について、子のふえ方などを調べてみることにしました。下の表は、なつきさんが調べたことをまとめたものです。

セキツイ動物の特徴					
なかま分け 比較項目	イワシ (魚 類)	イモリ (両生類)	トカゲ (ハチュウ類)	ヒバリ (鳥 類)	ニホンザル (ホニユウ類)
ふえ方と数	卵 生 5万~8万	卵 生 100~400	卵 生 6~12	卵 生 4~6	(ア) 1
卵の様子	薄い膜でおおわれている	寒天状のものでつながっている	やわらかい殻でおおわれている	固い殻でおおわれている	子宮内で受精まで守られている
卵が育つ場所	水 中	水 中	陸 上	陸 上	母の子宮の中
体 温	変 温	変 温	変 温	恒 温	恒 温
呼吸の仕方	えら呼吸	子はえら・親は肺	肺呼吸	肺呼吸	肺呼吸

(1) 表の(ア)に当てはまる言葉を答えなさい。

【平成26年度県学力調査中2問題】

- 6 (2) 成果が見られた問題

中学校理科

問題の趣旨

技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明すること

成果が見られた問題

正答率が最も高く、全国平均を最も上回った問題
・ 5 (2) ・ 本県 61.2% , 全国 56.8% , (+ 4.4)

課題

「電磁誘導を利用した技術」のしくみを、理科室にある実験器具を使って説明しよう。

【方法】

コイルを「ICカード」に見立て、磁石を「読み取り装置」に見立て、磁石を矢印のように動かす(図1)。

【結果】

検流計の針が振れた。

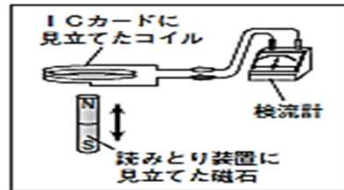


図1

【方法】

磁石を電磁石に置き換え、電磁石を矢印のように動かす(図2)。

【結果】

検流計の針が振れた。

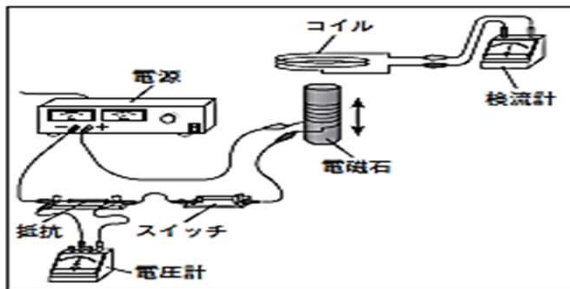


図2

(2) 【方法】で、検流計の針が振れた理由を、「磁界」という言葉を使って書きなさい。

今後更に力を伸ばすために

本設問を活かした学習指導例

科学的な概念を使用して考えたり説明したりすることを単元全体の課題として設定したり、単元の終わりに設定したりする。また、生徒が説明する際には、根拠を示し、事実と考えを区別して表現させる。

熊本県学力調査における関連問題

みさきさんは、実際に使った場合の費用が気になったので、表1をもとに、電気料金を調べて、表2のようにまとめてみました。(電気料金は、1 kWh = 20円)

表2 それぞれの電球の電気料金

電球の種類	消費電力	使用時間	電力量	1日の電気料金	1年間の電気料金
白熱電球	40 W	10時間	(ア) kWh	8円	2920円
電球形蛍光灯	8 W	10時間	0.08 kWh	(イ)円	584円
LED電球	5 W	10時間	0.05 kWh	1円	(ウ)円

(8) 表1の電球を玄関の外に取り付けるとしたら、あなたならどの電球を選びますか。電球の特徴や消費電力および設置場所の様子など、その理由が分かるように書きなさい。

【平成23年度県学力調査中2問題】

中学校理科

課題となった問題

正答率が全国平均を下回った問題

・1(5) 本県48.6%, 全国51.7% (-3.1)

課題

炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を選ぶこと

【誤答例】

- ・「イ」と解答 (20.4%)
- ・「ア」と解答 (17.6%)

蒸しパンの記事に関すること3

花子：ベーキングパウダーの主な原材料(図4)を、すべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かしたら、二酸化炭素が出たね。

次郎：炭酸水素ナトリウムだけを水に溶かしても、二酸化炭素は出なかった。

太郎：クエン酸だけ、コーンスターチだけ、小麦粉だけをそれぞれ水に溶かしても二酸化炭素は出なかったよ。

花子：やっぱり、二酸化炭素が発生するためには、炭酸水素ナトリウムが必要なのかな。

良子：「ベーキングパウダーの主な原材料(図4)をすべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かす実験」と、「Zを同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かす実験」の結果を比較すればわかるはずだね。

ベーキングパウダーの
主な原材料

- 炭酸水素ナトリウム
- クエン酸
- コーンスターチ
- 小麦粉

図4

(5) 良子さんは下線部を確かめる実験で、上の Z に当てはまる主な原材料の組み合わせを考えました。入れる物質を○、入れない物質を×で表したとき、最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

	炭酸水素ナトリウム	クエン酸	コーンスターチ	小麦粉
ア	○	○	○	×
イ	○	○	×	○
ウ	○	×	○	○
エ	×	○	○	○

指導のポイント

対照実験では、1つだけ条件を変えて他の条件を同じにすることが重要です。

対照実験では、まず、原因となっている条件(ここでは炭酸水素ナトリウム)が何かを意識させる、次に、原因となっている条件を除いた実験の結果を予想させる。対照実験では、原因となっている条件から結果を得る実験と原因を除いた実験を行うことが大切です。

中学校理科

課題となった問題

正答率が全国平均を下回った問題

・6(2) 本県28.9%, 全国29.9% (-1.0)

課題

音の高さは、「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験で、仮説を設定し、検証する実験の結果を予想すること

【誤答例】

- ・「X」を「ウ」と解答 (24.1%)
- ・「X」を「エ」と解答 (22.7%)
- ・「X」を「ア」と解答 (11.3%)
- ・「Y, Z」を「イ, ウ」と解答 (23.4%)

指導のポイント

自然の事物・現象の原因として考えられる複数の要因を基に、知識や概念を活用して仮説を立て、それらを検証するための実験を計画する場面を設定することが必要です。

また、一人一人が要因を抽出できるように、これまで理科で学習したことと関係する知識や技能、経験などを振り返らせ、考える視点を示すことが大切です。

抽出した要因をグループで検討し、仮説を設定することも仮説を立てる方法の一つです。

レポートの続き

【疑問】
音の高さが高くなったのは、空気の部分の長さaが短くなったからか、「水の部分の長さb」が長くなったからか(図3)。

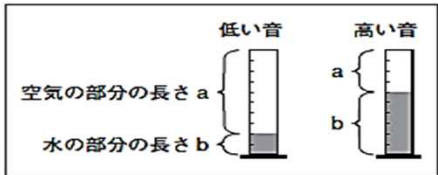


図3

課題
音の高さはaとbのどちらに関係しているのだろうか。

【方法】
同じ太さの4本の容器に水を入れておく(図4)。そして、その容器に水を注ぎ始めたときの音の高さを比較する。

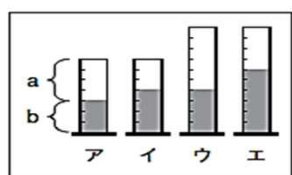


図4

【予想】
音の高さが、「空気の部分の長さa」に関係しているならば、音の高さが最も高いのはXで、音の高さが同じものはYとZのはずである。
音の高さが、「水の部分の長さb」に関係しているならば、.....

(2) 【予想】のX, Y, Zに当てはまる最も適切なものを、それぞれ図4のAからEまでの中から1つ選びなさい。

生徒質問紙

理科の勉強、観察や実験を行うことが好きである生徒の割合は、全国平均より高い傾向にあります。

理科室で観察や実験を行った回数は、全国平均を上回っています。

予想を基に観察や実験の計画を立てことや、観察や実験の振り返りについては、全国平均を下回っており、課題と捉えられます。

理科の勉強は好きですか。

「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」

・本県64.1%、全国61.9%、差+2.2

観察や実験を行うことは好きですか。

「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」

・本県82.9%、全国80.1%、差+2.8

理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。

「週1回以上」

・本県47.2%、全国39.2%、差+8.0

自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。

「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」

・本県51.3%、全国55.0%、差-3.7

観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。

「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」

・本県51.6%、全国55.0%、差-3.4

学校質問紙

補充的な学習の指導、実生活との関連を図った授業の実施状況については、全国平均より高い傾向にあります。

長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習を課していることについて、全国平均より高い傾向にあります。

観察や実験のレポートの作成、仮説を基に観察・実験の計画を立てさせる指導については、全国平均より低く課題として捉えられます。

補充的な学習の指導を行いましたか。

・本県88.2%、全国78.8%、差+9.4

実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。

・本県88.2%、全国88.1%、差+0.1

長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習の課題を与えましたか。

・本県89.3%、全国81.2%、差+8.1

観察や実験のレポートの作成方法に関する指導を行いましたか。

・本県66.9%、全国76.9%、差-10.0

自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか。

・本県58.0%、全国65.8%、差-7.8

割合は、「よく行った」「どちらかといえば行った」の合計

- 6 (5) 今後の取組

学力調査結果の分析から明らかになった理科の課題改善のため
次の点に取り組みましょう。

これまでの継続的な課題

予想を基に、観察・実験の条件を考え、計画を立てること

新たに明らかになった課題

対照実験の意味を理解し、課題に正対した対照実験を計画すること
観察・実験の結果を予想や仮説と比較したり、習得した知識・技能と関連付たりすること

取組

授業の中で

自然の事物現象から問題を見だし、適切に課題づくりができるようにする。
課題を解決するために考えられる条件の中から対照となる条件に気付かせ、予想を検証する観察・実験の計画を立てる学習場面を設定する。

日々の取組の中で

日常生活の場面において、理科で学習した知識・技能を活用できるようにする。
自らの考えや他者の考えを、検討して改善できるようにする。

- 1 児童・生徒質問紙調査結果
- 2 学校質問紙調査結果
- 3 改善に向けて

- 1 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
等 関心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	65.5	65.8	-0.3	56.3	58.0	-1.7
(言語活動・学習状況・指導状況)	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.2	51.2	-1.0	43.6	49.6	-6.0
	3. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	74.7	74.2	0.5	65.1	65.7	-0.6
	4. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	89.0	87.1	1.9	83.1	73.7	9.4
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	77.6	75.3	2.3	60.1	59.3	0.8
	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む) 1時間以上の合計	63.8	56.7	7.1	75.7	68.7	7.0
学習時間等	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.2	62.8	-1.6	43.8	48.8	-5.0
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	41.3	43.4	-2.1	29.9	35.3	-5.4
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	60.3	54.5	5.8	53.0	52.0	1.0

- 1 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
学校生活	10.学校に行くのは楽しいと思いますか	89.1	87.0	2.1	85.5	82.1	3.4
	11.あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	78.3	80.5	-2.2	77.1	78.3	-1.2
習生活	12.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない+持っていない)	92.2	90.2	2.0	75.3	68.4	6.9
地域	13.今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.5	66.9	6.6	40.8	44.8	-4.0
社会	14.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	82.8	84.3	-1.5	82.8	83.9	-1.1
	15.「総合的な時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	88.2	85.4	2.8	78.1	74.6	3.5
将来	16.将来の夢や目標を持っていますか	87.6	86.5	1.1	71.4	71.7	-0.3
意自尊	17.難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	75.9	76.4	-0.5	64.2	68.8	-4.6
意規範	18.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.8	96.2	0.6	94.7	93.7	1.0

- 2 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。
単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
向学 上力	1. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	46.7	61.1	-14.4	56.2	80.2	-24.0
指導 方法	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか	97.0	93.9	3.1	91.1	90.9	0.2
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	96.1	94.1	2.0	85.8	81.9	3.9
	4. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け、児童(生徒)に伝えるなど積極的に評価しましたか	96.4	96.7	-0.3	96.4	95.8	0.6
言語 活動	5. 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	63.0	66.1	-3.1	55.6	67.3	-11.7
	6. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	95.3	94.3	1.0	92.9	92.1	0.8
	7. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れられましたか	76.0	73.0	3.0	59.2	63.3	-4.1
	8. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	89.0	85.9	3.1	76.3	78.1	-1.8
	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	94.2	91.9	2.3	85.2	87.8	-2.6

- 2 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
援 特 教 別 育 支	10. 特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	93.9	89.2	4.7	93.5	86.3	7.2
導 個 別 指	11. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	40.1	32.4	7.7	37.9	25.3	12.6
家 庭 学 習	12. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）	78.4	79.5	-1.1	61.6	66.1	-4.5
	13. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	84.8	87.1	-2.3	77.5	78.5	-1.0
調 査 等 の 活 用	14. 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	97.8	95.8	2.0	94.1	93.2	0.9
	15. 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	86.5	88.0	-1.5	81.7	83.9	-2.2
	16. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	97.3	91.9	5.4	92.9	87.9	5.0
職 員 研 修	17. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	96.6	95.5	1.1	92.4	87.5	4.9
	18. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか（年9回以上）	70.4	49.4	21.0	56.3	34.5	21.8

- 3 改善に向けて

児童・生徒質問紙から

学習目標（めあて・ねらい）の提示や授業の最後に学習内容を振り返る活動はよく行われています。学習目標をもとに、学習内容を整理し、学んだことを確認する活動を確実に行いましょう。

自分の考えや意見等を積極的に発表できるよう、グループでの話し合いや自分で調べたことを発表させる場を授業の中に取り入れていきましょう。

昨年度に続き、復習を中心に家庭学習によく取り組んでいます。さらに「家で計画を立てて勉強する」「学校の授業の予習をする」ことなど家庭学習の一層の充実を図りましょう。

ニュースを見るなど地域や社会で起こっている問題や出来事への関心を高める工夫を行いましょう。

「ものごとを最後までやり遂げてうれしい」と実感させたり「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」意欲を高めたりする教育環境の整備を推進するため、すべての教育活動で「認め、ほめ、励まし、伸ばす」実践を拡げていきましょう。

- 3 改善に向けて

学校質問紙から

調査結果を学校全体で教育活動の改善に活用している学校が増え、学校総体とした取組が進んでいます。今後も調査結果を積極的に活用し、校内研修や授業研究会等を通して、課題の解決に向けた授業実践の一層の推進を図りましょう。

授業でパソコンや電子黒板等を活用した学習活動が増えています。今後も児童生徒の学習内容の理解を深め、興味・関心を一層高めるため、活用の工夫を行いましょ
う。

全校一斉読書や読書週間の設定、地域人材を活用した読み聞かせなどを通して、自主的に読書活動に取り組む態度をはぐくみましょ
う。

自分の考えを深めたり広げたりする学習活動が充実するよう、各教科等の指導計画を見直し、各教科等の学習内容に応じた言語活動を位置付けましょ
う。

児童生徒の質問紙調査結果で明らかになった課題（計画を立てて勉強する、予習をする）の解決のためにも、学校全体で家庭学習の課題の与え方などについて共通理解を図りましょ
う。

県教育委員会の取組

全小中学校を対象に、 研修会を実施します

熊本の教育推進会議：校長対象

県全体の課題や、学力向上に向けた好事例をもとに、
学校総体となった取組について説明

学力向上リーダー研修：教務主任等対象

本県独自の分析支援ツールを使った各学校の課題を
もとに、国の報告書を使った分析と課題克服のための
各学校の取組を明確にする研修

課題解決のための授業改善 方策を示します

「国語指導の手引き」の作成，配付
国語担当者を対象とした研修会の実施

補充学習を支援します

全国学力・学習状況調査過去問題
（単元別・領域別）及び県学力調
査過去問題の県教育委員会ホーム
ページへのアップ

児童生徒の学力向上のために

アドバイザー・指導主事を 派遣します

学力向上アドバイザーの派遣（3管内）
義務教育課及び教育事務所の指導主事
派遣（学校の課題に応じた支援を行います）

好事例を発信します

学力向上に向けた取組事例の紹介
（授業の振り返りとまとめ・補充問題の活用・
家庭学習の在り方等）

県学力調査を実施します。

課題の改善状況の調査（12月上旬）
課題克服に向けた補充問題の提供
（2月下旬）
検証改善サイクルのチェックリスト
の作成・配付

学力向上に向けた取組事例

1 授業改善の工夫

宇城市立松橋小学校

菊池市立隈府小学校

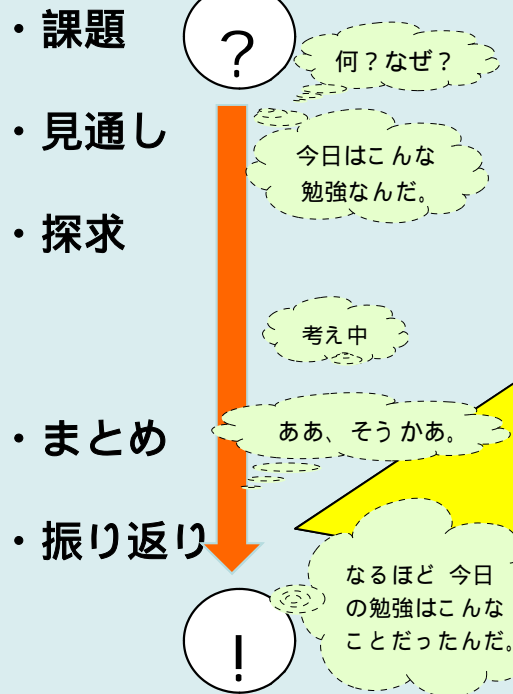
荒尾市立荒尾第一小学校

山江村立山田小学校

2 学力向上に向けた特色ある取組

ポイント 「いざなう言葉かけ」で児童の「納得」を促進（国語科）

児童の思考の流れ



「いざなう言葉かけ」

- ・ この時間で一番「そうそう！」と思ったことは何でしょう。
- ・ 「わかった！」と思ったことは、どんなことでしょう。
- ・ 「今日の発見」を書きましょう。
- ・ だれのどんな発言で、よくわかったのかまとめましょう。
- ・ 今日の学習で、明日につながると思ったところはどこでしょう。

実践例

6年「風切るつばさ」

【本時の課題】

人物関係図を作成するために意見を交流し，考えを広げよう。

【まとめ・振り返り】

- ・ 私は「クルルは心の奥で、ずっとカララを信じていたんじゃないのか」と思っていたけれど、みんなの意見を聞いて「少しも信じられないくらいつらい思いだったんだ」という私が見つけれなかった思いも発見することができました。

- ・ 長年取り組んでいる国語科の研究の中で、特に「まとめ・振り返り」に焦点をあてた内容です。教師の「いざなう言葉かけ」により、児童が「その時間でわかるようになったこと」「納得したこと」を言葉にして表現できるようにする学習を通して、学習内容の定着を図っています。

1 授業改善の工夫

ポイント 学ぶ内容の「視覚化」「焦点化」による学習意欲の向上と継続

国語の授業の工夫

文の全体をとらえる（視覚化）

言葉で遊ぶ

みなさんは、しりとりにや早口言葉で遊んだことがありますが、これから多くの人に親しまれている言葉遊びです。言葉遊びには、ほんのりとした面白さがあるのでしょうか。また、どのような面白さがあるのか。この音や同じ音の言葉を使って文を作るのが、しやれです。たとえ「ふんどん」や、食べ物「イクラはいくらだ。」がそうである。「ふんどん」と「ふつとんだ」や、食べ物「イクラ」と教わねる「いくら」のように、にた音や同じ音の言葉を使って作られるは、にた音や同じ音があっても、意味がらうものがあります。し言葉のもつ音と意味とを組み合わせるという面白さがあります。し上から読んでも下から読んでも同じになる言葉や文が、回文では、「さつさ」や「しんぶんし」のような短い言葉もあれば、「しわたしたわ。」のように長い文のものもあります。回文になって文を見つけたら、自分で作ったたりする面白さがあります。回文にはなるほど、作るのがむずかしくなりますが、できたときのうれしなります。

言葉を作っている文字のじゅんばんをならべかえて、べつのが、アナグラムです。たとえば、「とけい」をならべかえると、「いいう言葉ができますし、「くつみがさ」をならべかえると、「実がいうひじまじまりの言葉ができます。アナグラムには、元の言葉とちがう意味の言葉を作る面白さがあるのです。

このように、言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに面白さがある言葉遊びをするには、とくべつなところや、広い場所はいりません。言葉遊びを通して、楽しい時間をすごすことができます。人から言葉遊びを通して、言葉のおもしろさにふれてきました。あなたも、言葉遊びを楽しんでみましょう。

3年「言葉で遊ぼう」の教材文

説明文を一枚に集約し、全体を俯瞰できるようにします。読み進める意欲も高まり、書かれている事柄の関係もとらえやすくなります。

「読みの家」に整理する（焦点化）

言葉で遊ぼう おの みつやす

おわり	中 (説明)	はじめ
⑤ ふだん使っている言葉だけ とくべつなところや広い場所はいらない まとも 除く 時間	① アナグラム ② 元の言葉とはまったくちがう意味の言葉を作る「楽しさ」	① どのようなものがあるか。 ② どのような「楽しさ」があるか。
③ 見たり、自分で作ったりする「楽しさ」	① 回文 ② 回文になっている言葉や文	① しやれ ② 言葉のもつ音と意味とを組み合わせるといふ「楽しさ」

三年「言葉で遊ぼう」のお話の家

「はじめ」「中(説明)」「おわり」の「大部屋」に文を分け、それぞれの「部屋」を「小部屋」に分けながら、内容を把握します。

- 人権尊重、道徳性、児童相互及び教師と児童の信頼関係をすべての教育活動の基盤に置き、児童が過ごしやすい環境作りに努めています。国語では、「説明文の全体を一枚のシートに示す（視覚化）」「読みの家（焦点化）」「フリートーク（共有化）」により、学力を高めています。

ポイント 授業のはじめに「前時の学び」を語る児童の育成（算数科）

児童の「振り返り」

わかったこと（すっきり）、わからないこと（もやもや）を書く。

前時

教師の「まとめ」

本時のめあてとの整合性を見る。
児童の考えのよさを価値付ける。

「前時の学び」を語る

本時のめあてへつなぐ。

本時

【事例：6年「比とその利用」】

児童：今日は比を簡単にする方法を考えました。小数は、両方の数を10倍にしました。分数は通分しました。比の値を求める方法もあります。

教師：分母はそのままでいいのですか。

児童：分子がそのまま比になります。

教師：分母をそろえるということは、1つ分の大きさをそろえることなのです。線分図ならば、区切り方をそろえることと同じですね。

前時

本時は決められた比で全体を分ける学習

児童：昨日は、比を簡単にする方法を考えました。分数の比は分母をそろえました。これは、一つ分の大きさをそろえることでした。線分図をかくときにその考え方が生かせそうです。

教師：今日の学習では、線分図を使う場面があります。前回の考え方はどこに生かされるか意識しながら学習を進めましょう。

本時

- 算数の学習で大切な「既習とのつながり」を児童に意識させることが十分でないという反省からこの実践は生まれました。教師が「まとめ」の中で児童の「振り返り」を価値付けることで、児童はその日に学んだことを確実に理解し、次時のはじめに「前時の学び」を語るようになっていきます。

1 授業改善の工夫

ポイント 個人思考の場、グループ学習の場の充実による、質の高い学習

個人思考の充実

課題について、自らの考えとその根拠を確実に持たせる場の設定

グループ学習の充実

すべての児童に説明力を身に付けさせ、考えを関連付け、聞く力を育てる場の設定

山田小ミニミニ学級会等によるグループ学習力

質の高い全体学習（学習の振り返り）

真剣に考える児童の姿

全国学力・学習状況調査B問題の向上



個人思考 自らの考えと根拠



グループ学習 考えの関連付け



個人の学習の振り返り



ICT活用による全体学習

- ・ 根拠を明確にする個人思考の充実、山田小ミニミニ学級会等の実践による充実したグループ学習の位置付けにより、児童の真剣に考える姿が育まれ、質の高い全体（一斉）学習につながっています。このような質の高い協働学習により、全国学力・学習状況調査Bにおいても大きな成果が見られます。

次のページに続きます。

2 補充学習や日々の取組の工夫

阿蘇市立波野小学校・波野中学校

氷川町立竜北中学校

天草市立本渡中学校

ポイント 学力向上に向けた小中連携SUT (Step Up Time) の取組

「SUT」とは

1 実施方法

- ・日時: 毎週火曜日の放課後
- ・対象: 小学校4年生～中学校3年生
- ・形態: 小中学生混合グループ(3～4人)

2 活動内容

共同解決の時間

算数を中心に、県学力調査の過去問題や全国学力・学習状況調査単元別過去問題に取り組む。

小学生が分からない問題を中学生が教え、説明する時間。

個人学習の時間

- ・小学生・・・担任が用意したプリント
- ・中学生・・・教科書ライブラリの問題
準備された問題に個人で取り組む時間。

共同解決の時間の様子



【小学生の感想】

- ・問題が解けてうれしかった。
- ・中学生から をつけてもらってうれしかった。

【中学生の感想】

- ・もっとわかりやすく説明できるようになりたい。
学力の向上、コミュニケーション能力の向上に効果

・学力向上に向けた小中連携しSUTの取組により、小学生にとって学習内容の理解がより深まるとともに、学習意欲も高まっています。中学生にとっても小学生相手に分かりやすい表現となるよう、学習内容を整理して説明する力が求められます。SUTは小・中学生双方に有効な学習です。

ポイント 「落ち着いた生活」と「学習習慣」の環境づくり

毎日の取組

- 朝読書(8:15～8:25)
 - 各自が本を用意し、自分の席で黙読。
- チャレンジタイム(8:25～8:40)
 - 学年統一した計画による、百マス計算、視写、プリント学習等、基礎的・基本的学習内容を徹底。
学習クラスマッチ(学期に1回実施)

竜北中ノート

きまりの確認(下記を毎日自己評価し提出)
 5点固定：起床時刻，就寝時刻，学習開始時刻
 登校時刻，下校時刻
 生活心得，部活規定
 学校・家庭が一体となった推進

The image shows three pages from a student notebook. The top page is a daily schedule with columns for '午前' (morning) and '午後' (afternoon), and rows for '時' (hour), '月' (month), '日' (day), and '(木)' (Thursday). It includes fields for '朝食' (breakfast), '起床' (wake up), '登校' (school start), '帰宅' (home arrival), and '学習' (study). A box labeled '5点固定' (5-point fixed) explains that breakfast is recorded with O, Δ, or X, and other activities are recorded with their times. The middle page has a similar layout but includes a box for '教科の連絡' (subject communication) and '今日の反省' (today's reflection). The bottom page shows a summary of the day's schedule with fields for '起床', '学習', and '就寝' times.

竜北中ノート(一部抜粋)

・毎日の「朝読書」と「チャレンジタイム」で徹底した学習の基盤づくりに努めています。また、日常の落ち着いた生活習慣や確実な学習習慣の定着に向け、「竜北中ノート」の活用や、家庭と連携した取組も行い、地域とともにある学校づくりを推進しています。

2 補充学習や日々の取組の工夫

ポイント 授業のまとめの板書で、家庭学習のポイントを確認

板書整理の工夫

「学習課題」
「まとめ」
「自学のポイント」
をプレートで提示

自学のポイント

自分が考えた流れを、
ていねいに書いてみる!!

「家庭学習」への効果

その日の学習内容を、授業のねらいにそって、ポイントを押さえながら的確に復習でき、基礎学力の向上につながる。

学習課題 二次方程式を立て、問題を解決しよう!!

《解決のポイント》 - まとめ

- ① 何を文字(x)で表すか?
- ② 方程式を立てる。
- ③ 方程式も解く
- ④ 求めた解が条件にあっているか、チェック!!

長方形の長さなので $x > 0$ だから $x = 5$ になる

生徒は、下校前に行う「自学タイム」でその日の授業を振り返り、家庭学習の計画を立てるとともに復習を始めます。授業の板書を工夫することで家庭学習ではポイントをふまえた復習ができ、授業と家庭学習がリンクした学習習慣の確立につながっています。

3 校内研修や教育委員会全体での取組の工夫

山鹿市立大道小学校

御船町立小坂小学校

津奈木町立津奈木中学校

美里町教育委員会

ポイント 「ステップアップ授業研究」で、毎時の授業の改善を図る。

「ステップアップ授業研究」とは

教師それぞれの強みや学びを生かした全教科・領域の授業研究において、具体化・焦点化した共通実践事項や手立て等を積み上げ、実践を通して、授業力・指導力アップを図る。

授業における共通実践事項

1 学習過程の確立

- ・「めあて」「学び合い」「まとめ」

2 学習規律の徹底

- ・「ベーシック4項目(座り方・挙手・返事・聞き方)」の徹底

3 板書の工夫

- ・流れや思考の可視化 思考や基礎・基本の定着に役立つ板書

エビ・サデ・ザイの視点に基づいた授業の構築

合理的配慮の充実



・授業のゴールで目指す具体的な姿を児童と共有し、導入のカード学習、終末の適用問題等、すべての教科・領域において基礎・基本の定着を重視した具体的な手立てと取組を推進しています。

ポイント 公開授業で切磋琢磨 見せ合っこ授業による授業力の向上

見せ合っこ授業

千本ノック形式の公開授業。
若手・ベテランが等しく、
授業力を磨き合います。

そのために

指導案を研究の視点に沿って精選した
授業設計カードを活用

授業について日常的に語り合う職
員室の雰囲気
本音で語り合う授業研究会

公開授業の設計カード

6年 教科・領域(算数科)
「拡大図と縮図」(東京書籍) 1/8時
平成27年9月16日(水) 5校時
授業者 村田裕紀

目指す子どもの姿
図形の構成要素に着目し、拡大図や縮図の意味について、「対応する辺の長さの比が等しく、対応する角の大きさがそれぞれ等しい。」と指摘することができる。
【知識・理解】

児童の実態
合同な図形に関しては、ほとんどの児童がその意味を理解していた。分度器の使い方が理解できていない児童がいた。指示が通らず、集中力が持続しない児童が数名いる。

そのために授業者は・・・
○図形の構成要素(対応する、角度、長さ等)について想起するために、導入段階で既習事項の合同を振り返る。
○図形の関係性について、方眼紙シートで考えることで、図形の構成要素に着目した説明ができるようにする。

学習活動

- 合同の学習や図形の構成要素について想起し、本時の学習課題を捉える。
- 示された拡大図と縮図の関係について、2つの図形から構成要素をもとに性質を調べて話し合う。【言語活動】
- 拡大図と縮図の意味についての関係を探る。
- 適応問題に取り組み。

発問や指示

2つの図形(合同)はどんな関係といえますか。

形が同じで、大きさが違うと思う図形を選びましょう。理由を発表しましょう。

<学習課題>
「形が同じで大きさが違う」という図形の関係について調べてみましょう。(セルフベアオール)

<主発問>
「形が同じで大きさが違う」図形同士にはどのような関係があるといえますか。(ベアオール)

拡大図と縮図の関係のカードを持った友達と集まって理由を発表しよう。

UDの手立て

【スパイラル化】
○合同の学習を振り返り本時の学習につなげる。
【動作化】
○動作化(立つ・産る・移動する・書く・貼る)
○学習形態の工夫(セルフベア・オール)。

【視覚化】
○実物投影機を活用する。
○対応する辺や角を色分けする。

【焦点化】
○図形の関係性について、方眼紙シートで考えさせることで、図形の構成要素に着目した説明や指摘ができるようにする。

【共有化】
○適応問題でまともなベアで確認し合う場を設け、習得の共有化を図る。

個別の配慮の設計カード

みんなが楽しく「わかる・できる」ための手立てをめざして

集団 ← **配慮を要する児童の実態** → **個別**

【グループ1】
レディネスアセスメント
▲分度器等の操作活動が苦手。
▲図形(算数)の理解力がやや低い。
【対象児童】A、B、C

【グループ2】
レディネスアセスメント
▲指示が通らないときがある。
▲合同な図形の習得が不十分。
▲分度器の使い方が習得できていない。
【対象児童】D

個別の配慮

個別に配慮

- ものさしや分度器を操作し、合同を構成する長さや角度という要素に気づかせる。(A、B、C)
ベアトークで既習事項を想起できるようにする。(A、B、C)
事前: 既習事項である「合同」の学習に関する復習をしておく。
- 図形の構成である長さや角度、また「対応する～」という概念について机間巡視で着目させる。(A、B、C)
意欲の続かない児童には、できた分に対する評価を赤ペンでして、スモールステップの積重ねによる意欲の継続を図る。(A、C)
作業の指示が通っているか机間巡視する。(D)
事前に定規の使い方や分度器の使い方について個別に指導をしておく。
- ベアトークで友達のを付け足しながら自分の考えを持たせるようにする。(A、B)
ベアトークの場から自分の考えを持たせるようにする。(C、D)
事前にベアトークのやり方を個別指導する。
- 迷っている児童には今日のまめを指示し助言することで適応問題に取り組ませる。(A、B、C)
事後に宿題プリントにヒントを朱書きし取り組ませるようにする。

個別の配慮をふりかえて・・・

授業設計カード

・学校の共通実践事項をもとにした授業設計カード(小坂方式)を活用することにより、全職員による毎月の公開授業が可能になりました。そのことにより、本校の研究の方針に焦点をしばって本音で授業を語り合うことができるようになり、授業力の向上につながっています。

ポイント 課題を重点化し、組織の活性化を図る校内研修

特定課題改善シート作成

「肥後っ子輝きナビ」等を活用した小問分析から見えてきた特に課題とされる単元や指導事項等について、改善につながる授業を実践するためのシートの作成を行い、いつ、どのようにして実施するのかを明確にする。

課題となる問題

調査結果(小問)

定着率(本校)	
定着率(県)	
無答率	

正答の状況

指導改善のポイント

- 時間を x として方程式をつくるだけでなく、道のりを x として方程式をつくるなど、1つの問題を解決した後、異なる視点から解決を図る場面を設定し指導する。
- 学習内容(速さ・道のり・時間)の学び直しの機会を設け、既習内容の復習

改善のための授業案

学年	1年1組、1年2組	実施時期
単元名等		1次方程式

課題改善のポイント

授業展開

- ①小学校での学習内容の復習
- ②問題の提示・学習課題の設定
- ③問題解決
 - 時間を x として、表を作成し、数量関係
 - ④視点を変えて解決
 - 道のりを x として、表を作成し、数量関係

特定課題改善シート

課題改善に向けた共通実践

課題の改善に向け、全教科・全授業で共通実践する内容を話し合い、実践に向けた具体的な手立てを検討する。さらに、授業研究会では、これらの視点で協議を深め、取組の検証を行う。

津奈木中 話し方・聞き方の約束

<話し方>

- ◇発表は丁寧語で！
 - 「・・・です。」 「・・・と思います。」
- ◇結論をはっきりさせて、理由や根拠をつける！
 - 「・・・と思います。理由は・・・だからです。」
 - 「・・・と思います。・・・を見て・・・と判断したからです。」
 - など
- ◇他の人の意見に関連づけて！
 - 「〇〇さんと同じで・・・」
 - 「〇〇さんの意見に似ていて・・・」
 - 「〇〇さんの意見に付け加えて・・・」
 - 「〇〇さんとは違いますが・・・」
 - 「〇〇さんと同じ意見です。」

共通実践項目

・調査結果の分析に終わらず、共通実践事項まで明確にしています。次に、確実に実践できるような手立てを個々の職員及び職員全体で検討し、日常化を図っています。これらを繰り返すことで、全職員での共通実践を推進し、課題改善・克服を目指しています。

ポイント 町全体での統一した学力向上の取組

美里町学力向上プラン

学校教育

- 1 教育課程の管理・運営
- 2 授業改善と学力向上
- 3 個に応じた指導
- 4 基本的な生活態度の定着
- 5 継続的な取組
- 6 信頼される学校・学級づくり
- 7 家庭学習の指導
- 8 読書活動の推進

家庭教育

- 1 規則的な生活習慣の定着
- 2 保護者の協力・支援

教育審議員による授業指導訪問（年間約130回）

- ・美里町言語活動一覧表の活用
- ・「教えること」と「考えさせること」を明確にしたメリハリのある熊本型授業の推進
- ・導入の工夫と学習の振り返りの充実
- ・言語活動と関連させた精度の高い評価基準の設定

教育委員会による教科指導訪問の実施
年1校，町内の管理職等が教科指導員
校内研修への支援訪問

小中連携授業改善研修会の充実

- ・中学校区ごとの公開授業と授業研究会（6月，11月）

全国学力・学習状況調査，県学力調査の分析考察と支援指導
学力の検証改善サイクルに沿った取組の推進指導

- ・美里町学校教育取組の方向や学力向上アクションプラン等により，教師の指導力向上，児童生徒の学力向上に努めています。学力向上は，基本的な生活習慣や学習規律の定着を基盤とし，家庭との連携や幼保等，小中連携を実践研究事業（県指定）等を充実させ，「オール美里」で取組を進めています。